

**【基本目標2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進
～社会増への転換をめざす～**

数値目標 : 若者・女性の転入増・転出減を目指す

[現状 (H25)] 若者・女性の転出超過数 1, 550人 → [H31] 移動均衡人口の社会増を目指す

[現状 (H26)] ▲1, 147人(転出超過) → [H31] +100人(転入超過)
[H36] +200人を目指す

《基本的方向》

本県の社会移動数(本県と他都道府県間の転入・転出数)は、他の都道府県に比べ、全体では転入数も転出数も少ない状況にあるものの、10代から30代の若い世代が県外へ転出超過傾向にあります。特に20～24歳の若い女性の東京圏等への転出超過が顕著であり、就職などを機に県外へ転出し、そのまま本県へ戻ってこない傾向がうかがえます。

一方、国の調査によれば、東京在住者の約4割の方に地方へ移住したいという意向があり、特に30代以下の若年層に地方移住の意識が高いという結果となっています。

本県から東京圏への若い世代の人口流出に歯止めをかけ、また、東京圏から本県への人口の還流を促進するために、競争力強化や「稼ぐ力」の向上などにより、産業・地域経済の活性化を図るとともに、地域の魅力アップや多様なライフスタイルを提供して定住・半定住等の環境づくりを進めるなど、若い世代などが、質の高い雇用環境で安心していきいきと働き、暮らすことができる社会を実現する施策に取り組みます。

1 産業・地域経済の活性化

- (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成
- (イ) 中小・小規模企業の振興
- (ウ) 企業立地等の促進
- (エ) 農林水産業の振興(競争力強化)
- (オ) 環境・エネルギー産業の育成

2 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

- (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進
- (イ) 高等教育機関の魅力向上
- (ウ) 地域の魅力創生

3 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

- (ア) 選ばれ続ける観光地づくり
- (イ) 富山のブランド力アップ
- (ウ) 定住・半定住の環境づくり

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

1 産業・地域経済の活性化

(ア) 富山の強みを活かした成長産業の育成

①「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進

- 本県の強みである高いものづくり技術や産業集積を活かして、医薬・バイオなどの健康関連産業への本県企業の参入を促進するとともに、異分野での技術融合によるイノベーション創出を推進
- 医療現場等のニーズが高い医薬品、医療機器等の開発促進に産学官が連携して取り組むとともに、首都圏や海外への販路開拓を推進
- 国の政府関係機関移転基本方針で示された、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の支店の設置とそこに設置されるアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所での研修、国立医薬品食品衛生研究所との天然物医薬品分野での共同研究・研究協力を通して、医薬品関連産業のさらなる発展を目指す

◆重要業績評価指標（KPI）：

医薬品生産金額（厚生労働省 薬事工業生産動態統計調査）

[現状（H25）]6,089億円 → [目標（H31）]9,000億円

バイオ関連商品の年間売上高（富山県庁商工企画課まとめ）

[現状（H26）]56.5億円 → [目標（H31）]80億円

（具体的な事業）

- ・ 医薬バイオ地域イノベーション戦略推進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ 富山大学連携地域イノベーション推進事業（H26.2月補正・商労）
- ・ 世界の薬都連携チャレンジ事業（H27当初・厚生）
- ・ 世界の薬都海外展開事業（H28当初・厚生）
- ・ 医薬品関連産業活性化推進事業（H27.2月補正・商労）
- ・ 医薬工連携促進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ 医薬工連携ネットワーク支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ 薬都とやま こども医薬品開発促進プロジェクト（H27.2月補正・厚生）
- ・ 薬都とやまヘルスケア創造シーズ育成事業（H27.9月補正、H27.2月補正・厚生）
- ・ 薬都とやまヘルスケア創造シーズ実用化支援事業（H27.9月補正、H27.2月補正・厚生）
- ・ ME-BYO JAPAN 出展事業（H27.2月補正・厚生）

②最先端ものづくり産業の育成

- 本県に蓄積された産業資源・技術を活かし、ロボット産業、航空機産業、ナノテクノロジー、次世代自動車など成長産業の創出・育成に対する支援の充実
- 地域経済構造分析研究会（会長：富山大学経済学部長）での成果を踏まえ、県内企業間の連携を強化し、県内で取引を循環させるための検討や共同開発を支援するとともに、生産性向上を目的とした「IoT（Internet of Things）」導入促進を支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

機械・金属・電子部品の製造品出荷額

[現状（H26）]1兆3,977億円 → [目標（H31）]1兆5,000億円

JIS Q 9100（航空機部品関連の認証）取得企業数

[現状（H26）]9社 → [目標（H31）]19社

従業者1人当たり付加価値額（製造業）

[現状（H26）]1,044万円 → [目標（H31）]1,150万円

（具体的な事業）

- ・とやまロボット技術研究ネットワーク支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・航空機産業共同受注サポート支援事業（H26.2月補正・商労）
- ・とやまナノテククラスター推進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・とやま次世代自動車・エネルギーインフラ研究事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・産学官連携推進支援事業（新商品・新事業創出枠）（H27当初、H28当初・商労）[再掲]
- ・IoT活用ビジネス革新研究事業（H27.2月補正・商労）
- ・とやまものづくり産業連携高度化事業（H27.2月補正・商労）
- ・新成長産業育成支援資金（H27当初、H28当初・商労）[再掲]

③ものづくり研究開発センターを中心とした産学官共同研究開発の促進や企業の支援体制充実

- 大型研究プロジェクトの挑戦に向けた産学官連携による先行的研究への支援、ものづくり研究開発センターの活用や大学等との連携による先端技術の実用化や商品化への支援
- 知的所有権センターによる企業ニーズの把握や技術シーズとのマッチングを支援
- 企業に対する技術・製品開発の相談機能の充実による支援体制の強化、先端的で高度な試験研究機器の導入等の促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

年間産学官共同研究件数

[現状（H26）]345件 → [目標（H31）]375件

年間特許出願件数

[現状（H26）]703件 → [目標（H31）]720件

国等の競争的研究開発資金の新規獲得件数（累計）

（1件あたり2千万円以上の産学官連携プロジェクトの獲得数〈H18年度以降の累計〉）

[現状（H26）]33件 → [目標（H31）]43件

（具体的な事業）

- ・産学官連携推進支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・高機能素材・ライフサイエンス産学官連携戦略研究事業（H26.2月補正・商労）
- ・ものづくり研究開発・雇用創造支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・3Dプリンターイノベーション推進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ものづくり産学官協働バトンゾーン形成研究事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・特許流通促進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・工業技術センター設備整備事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・とやまものづくり産業連携高度化事業（H27.2月補正・商労）[再掲]

④高度ものづくり人材の育成

○共同研究活動を通じた企業の若手研究者、技術者の育成、ナノテク分野の最先端設備を活用した研修方式による高度なものづくり人材の育成

◆重要業績評価指標（KPI）：

ものづくり人材の育成人数

[現状（H26）]183人 → [目標（H31）]285人

（具体的な事業）

- ・若手研究者育成支援研究事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・高度ナノテク人材育成事業（H27当初、H28当初・商労）

（イ）中小・小規模企業の振興

① 富山県新世紀産業機構等における産学官連携コーディネーターや産学官金連携体制の強化

○富山県新世紀産業機構の産学官連携コーディネーター機能を充実するとともに、県内企業の技術ニーズと大学、試験研究機関の技術シーズとのマッチングを促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

年間産学官共同研究件数

[現状（H26）]345件 → [目標（H31）]375件

（具体的な事業）

- ・産学官連携推進体制整備事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・地域産学官連携強化支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ものづくりアドバイザー事業（H27当初、H28当初・商労）

②創業・ベンチャー、新商品・新サービス開発、第二創業などへの事業資金や販路開拓等の支援

○資金繰りや販路開拓等の支援により、スタートアップ期にある企業の成長発展を促進するとともに、県内企業の継続的発展を推進するため、円滑な事業承継を支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

県内中小企業（製造業）の付加価値額

[現状（H26）]8,410億円 → [目標（H31）]9,800億円

（具体的な事業）

- ・ビジネスインキュベーション事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・創業・ベンチャー挑戦応援事業（H26.2月補正、H27.2月補正・商労）
- ・創業支援資金「創業者枠」（H27当初、H28当初・商労）
- ・若者・女性・シニア創業チャレンジ支援事業（H26.2月補正、H27.2月補正・商労）
- ・創業支援資金「事業承継支援枠」（H27当初、H28当初・商労）

③新商品開発、資金調達の円滑化など中小企業の成長発展への支援

- 県中小企業支援センター、中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会等の中小企業支援機関の体制を充実・強化するとともに、販路拡大の支援により、県内中小企業のさらなる成長発展を促進
- 新分野進出に取り組む中小企業に対する新商品開発や販路開拓等の支援
- 県内クリエイター等を活用し、企業の経営課題の解決を図る取組みを支援
- 経済情勢に的確に対応した県制度融資の実施や信用保証制度の活用など、中小企業の資金調達の円滑化に向けた取組みの推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

県内中小企業（製造業）の付加価値額

[現状（H26）] 8,410億円 → [目標（H31）] 9,800億円

新商品開発等への助成件数

[現状（H26）] 265件 → [目標（H31）] 590件

（具体的な事業）

- ・富山県中小企業支援センター事業費補助金（H27当初、H28当初・商労）
- ・小規模事業指導費補助金（H27当初、H28当初・商労）
- ・とやま中小企業チャレンジファンド事業（基金・商労）
- ・クリエイティブ産業振興事業（H26.2月補正、H28当初・商労）
- ・中小企業制度融資資金（H27当初、H28当初・商労）
- ・設備投資促進資金「生産性向上支援枠」の創設（H28当初・商労）

④大都市圏等域外からの需要の取込みなど販路拡大への支援

- 地域経済構造分析研究会（会長：富山大学経済学部長）での成果を踏まえ、展示会・商談会の開催や出展支援、県外大企業のニーズと県内中小企業の技術とのマッチング支援等により、域外からの需要の取込み・販路拡大を支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

県の中小企業販路開拓支援事業における商談成約金額

[現状（H21～25平均）] 約6.8億円/年 → [目標（H28～H30平均）] 約8.5億円/年

（具体的な事業）

- ・とやま次世代自動車新技術・新工法展示商談会開催支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・富山・長野連携東京圏商談会開催支援事業費補助金（H27当初、H28当初・商労）
- ・「技術をつなぐ、人をつなぐ、未来へつなぐ」見本市出展モデル支援事業費（H27.2月補正・商労）
- ・中小企業首都圏販路開拓支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・中小企業新市場開拓支援事業（H27.2月補正・商労）

⑤富山ならではの優れた新商品・新サービスのブランド化推進【再掲】

- 富山ならではの優れた新商品・新サービスの開発支援、選定制度を活用した販路開拓支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

地域資源・北陸新幹線開業に関連した新商品・新サービス開発件数

[現状（H26）] 141件 → [目標（H31）] 241件

(具体的な事業)

- ・ビジター対応ビジネス支援事業（とやま中小企業チャレンジファンド）
（H27当初、H28当初・商労）
- ・地域資源ファンド事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・続け！まちの逸品事業（H27当初・商労）
- ・「べつばら富山」販売促進事業（H28当初・商労）
- ・富山のデザイン発信力強化事業（H26.2月補正、H27.2月補正・商労）

⑥伝統産業分野における商品開発によるブランド力向上、販路開拓や人材育成等の支援

○居住環境やライフスタイルにマッチしたデザイン性に優れた商品づくりやこだわりの逸品を目指したブランド力の向上など需要開拓の取組や、地域の技術や人材の有効活用への支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

海外著名展示会出展企業数

[現状（H26）] 6企業 → [目標（H31）] 12企業

(具体的な事業)

- ・とやま伝統工芸ミラノ・トリエンナーレ国際展出展事業（H27.2月補正・商労）
- ・とやま伝統工芸首都圏発信事業（H27.2月補正・商労）
- ・伝統工芸品産業支援事業費補助金（H27当初、H28当初・商労）
- ・地域産業人材育成・販路開拓支援事業費補助金（H27当初、H28当初・商労）
- ・伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業（H26.2月補正・商労）
- ・次世代伝統工芸作家挑戦支援事業（H26.2月補正・商労）
- ・伝統工芸後継者育成対策事業費（H26.2月補正・商労）

⑦ものづくり技術とデザインを融合した高付加価値商品の開発・販路開拓、デザイン交流を支援

○総合デザインセンターを中心とした商品の共同開発等を通し、県内企業のニーズに応じた商品開発企画から販路開拓までの総合的な支援、魅力あるお土産商品作りなどデザインを活用した商品やパッケージ等の開発の支援

○県内外でのデザインイベント等の開催を通じた、国内外のデザイナーとの交流促進

○デザイン展の開催支援等による県民や企業がデザインに触れる機会の提供とデザイン意識の啓発、最新のデザイン情報を学ぶ研修会・講習会の開催、デザイン系大学とのネットワーク形成など、戦略的にデザインを活用する人材の育成・確保

◆重要業績評価指標（KPI）：

「富山プロダクツ」選定商品数

[現状（H26）] 231件 → [目標（H31）] 300件

(具体的な事業)

- ・ハイグレードデザイン工房整備事業（H26.2月補正・商労）
- ・富山のデザイン発信力強化事業（H26.2月補正、H27.2月補正・商労）
- ・TOYAMA デザイン展開事業（H26.2月補正・商労）

- ・富山・韓国・台湾デザイン交流事業（H26.2月補正・商労）
- ・デザインウエーブイン富山開催事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・富山・ミラノデザイン交流支援事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・デザイン展開催事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・デザイン人材確保ネットワーク形成事業（H27.2月補正・商労）
- ・国際デザイン交流事業（H27.2月補正・商労）

⑧ものづくり技術の情報発信の強化

○見本市・展示会の開催の促進や成長分野を中心に見本市等への共同出展を企業に対して支援するとともに、県内企業のものづくり技術の情報発信を強化

◆重要業績評価指標（KPI）：

県内中小企業（製造業）の付加価値額

[現状（H26）] 8,410億円 → [目標（H31）] 9,800億円

（具体的な事業）

- ・「技術をつなぐ、人をつなぐ、未来へつなぐ」見本市出展モデル支援事業費（H27.2月補正・商労）[再掲]
- ・とやま次世代自動車新技術・新工法展示商談会開催支援事業（H27当初、H28当初・商労）[再掲]
- ・富山・長野連携東京圏商談会開催支援事業（H27当初、H28当初・商労）[再掲]
- ・航空機産業参入チャレンジグループ支援事業（H27当初、H28当初・商労）[再掲]
- ・ものづくり県とやま発信事業（H26.2月補正、H28当初・商労）

⑨海外ビジネス・通商貿易の拡大・強化

○富山県新世紀産業機構やジェトロ等と連携し、相談業務の実施や、投資環境セミナー開催、各種見本市・商談会への参加支援等により県内企業の海外販路開拓をサポートするとともに、経済訪問団の派遣により経済交流を促進し、通商貿易の拡大に向けた取組みを促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

海外販路開拓に関するサポート件数

[現状（H26）] — → [目標（H31）]100件

（具体的な事業）

- ・岐阜・長野連携海外販路開拓商談会事業（H27.2月補正・商労）
- ・東南アジア経済訪問団派遣事業（H28当初・商労）
- ・インド AP 州経済交流スタートアップ事業（H28当初・商労）
- ・日中経済協力会議開催事業（H28当初・商労）
- ・地方創生推進資金「海外市場開拓支援枠」の拡充（H28当初・商労）[再掲]
- ・三県連携・海外販路開拓商談会事業（H27当初・商労）
- ・インドネシア経済訪問団派遣事業（H26.2月補正・商労）
- ・富山県海外販路開拓サポートデスク事業（H26.2月補正・商労）

(ウ) 企業立地等の促進

①新幹線時代の積極的な企業誘致活動の展開

○北陸新幹線の開業、自然災害の少なさ、日本海側屈指の工業集積、整った交通・物流網、教育水準の高さなど、本県の優れた立地環境をPRし、ビッグデータを活用して本県産業の特色が活かせる企業など、ターゲットを絞った積極的かつ重点的な企業誘致活動により立地を促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

企業立地件数

[現状 (H22~26 平均)] 36 件/年 → [目標 (H27~31 平均)] 43 件/年

(具体的な事業)

- ・企業立地助成事業 (H27 当初、H28 当初・商労)
- ・「企業のチカラに」とやま立地環境PR事業 (H26.2 月補正・商労)
- ・大都市圏からの企業移転推進事業 (H26.2 月補正・商労)
- ・ビッグデータ活用企業誘致・重点訪問事業 (H27.2 月補正・商労)

②本社機能移転等の促進

○女性や若者の雇用創出や、東京圏等からの人の還流につながる企業の本社機能移転や研究開発拠点の立地を促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

特定業務施設整備計画認定企業における雇用創出人数

[現状] — → [目標 (H27~H31 累計)] 500 人

人口の社会増減数

[現状 (H26)] Δ 1,147 人(転出超過) → [目標 (H31)] +100 人(転入超過)

(具体的な事業)

- ・企業立地助成事業 (新成長産業研究拠点強化助成金) (H26.2 月補正、H28 当初・商労)
- ・企業立地助成事業 (本社機能施設等移転奨励事業) (H27.9 月補正、H28 当初・商労)
- ・本社機能移転等に対する法人関係税等の軽減措置 (H27.9 月 県条例整備・経管)
- ・ものづくり産業見学・体験施設等設置事業費補助金 (H27.11 月補正、H28 当初・商労)
- ・地方創生推進資金「県内進出・本社機能等強化支援枠」の創設 (H28 当初・商労) [再掲]

③新成長産業や企業誘致などによる若者や女性にとって魅力ある雇用創出と雇用の安定

○新たな成長産業の育成や企業誘致等により、魅力ある職場の確保や新たな雇用創出、中小企業融資制度の充実などによる中小企業の雇用の維持安定

◆重要業績評価指標 (KPI) :

若者の就業率 (15~34 歳の人口に占める就業者の割合)

[現状 (H22)] 64.8% → [目標 (H31)] 64.8%以上

(具体的な事業)

- ・高度ものづくり人材確保支援事業 (H27 当初、H28 当初・商労)
- ・ものづくり人材等育成支援事業 (H27 当初、H28 当初・商労)
- ・求職者業種別就職支援事業 (H27 当初、H28 当初・商労)
- ・ものづくり研究開発・雇用創造支援事業 (H27 当初、H28 当初・商労)

○政府関係機関等移転の促進

○東京一極集中を是正し、本県への「ひと」の流れを加速させ、本県の地方創生に資する機関の誘致

（移転を提案した政府関係機関…4機関（6部門））

- ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構（ジェネリック医薬品等審査部、国際部、アジア医薬品・医療機器薬事トレーニングセンター）
- ・国立医薬品食品衛生研究所（薬品部）
- ・消防庁消防大学校消防研究センター（火災災害調査部）
- ・独立行政法人教員研修センター（英語教育及びキャリア教育の研修機能）

◆重要業績評価指標（KPI）：

政府関係機関等の本県への誘致 【目標】 H27 年度採択

👉 政府関係機関移転基本方針（H28.3.22 まち・ひと・しごと創生本部決定）

○平成28年3月に国が決定した「政府関係機関移転基本方針」において、次のとおり3機関の移転が盛り込まれた。また、基本方針に盛り込まれなかった「消防大学校・消防研究センター」についても、火災災害調査技術の向上を図る全国会議の本県開催と共同研究の実施が決定した。

この決定を受け、引き続き、本県の特徴・強みを活かし、活力と魅力あふれる「とやまの未来創生」に取り組む

<政府関係機関移転基本方針（抜粋）>

機関名	移転の内容
独立行政法人医薬品医療機器総合機構	◆アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所の設置 独立行政法人医薬品医療機器総合機構の支部を設置し、同支部に設置されるアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所において、アジアの規制当局者に対し、GMP調査に関する研修を実施する。
国立医薬品食品衛生研究所	◆天然物医薬品分野での研究連携拠点の設置 国立医薬品食品衛生研究所が中心となって取り組んでいる、生薬エキス剤の規格に係る試験法の策定に関して、平成28年度を目途に富山県薬事研究所を研究連携拠点とし、共同研究・研究協力を実施する。
独立行政法人教員研修センター	◆キャリア教育指導者養成研修の実施 教員研修センターが実施している研修のうち、提案のあった富山県の教育センターなどにおいて全国の教員にとって参考となる取組を有し、地元でのフィールドワーク等を活用した研修を実施することが可能である「キャリア教育指導者養成研修」について、県と連携し、平成28年度から富山県で研修を実施する。

(エ) 農林水産業の振興（競争力強化）

農 業

①高品質で競争力のある農産物の生産

○生産調整の見直しやTPPなど、農業をとりまく環境が大きく変化する中、地域の創意工夫による米政策改革への対応や、米の新品種の推進体制整備、収益性の高い園芸作物の生産拡大、畜産農家の生産基盤強化など、さらなる競争力強化を図る

◆重要業績評価指標（KPI）：

富山県の農業産出額

[現状（H25）]643億円 → [目標（H31）]698億円

高品質な米の生産割合

[現状（H26）]88% → [目標（H31）]95%

（具体的な事業）

- ・ 水田農業生産振興対策事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・ 1億円産地づくり支援事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・ 飼料用米等利用拡大事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・ 地方創生推進基盤整備事業（H27.9月補正・農水、土木）[再掲]
- ・ 地域農業成長産業化戦略推進事業（H28当初・農水）
- ・ 富山米新品種戦略推進事業（H28当初・農水）
- ・ 産地パワーアップ事業（H28当初・農水）
- ・ チューリップ県育成品種グローバル戦略事業（H27.2月補正・農水）
- ・ とやま畜産基盤強化事業（H28当初・農水）

②意欲ある農業の担い手の確保・育成と経営基盤の強化

○経営の規模拡大や複合化・法人化、農村女性の起業化や6次産業化等によるとやま型農業経営の確立に向けて、意欲ある担い手の経営基盤強化の取組みに対する支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

地域のモデルとなる富山型農業経営の確立

[現状（H26）] — → [目標（H31）]4経営モデル

経営面積50ha以上の農業経営体数

[現状（H26）]92経営体 → [目標（H31）]110経営体

6次産業化の販売額

[現状（H25）]88億円 → [目標（H31）]397億円

農村女性起業数

[現状（H26）]169件 → [目標（H31）]191件

（具体的な事業）

- ・ とやま型農業成長戦略チャレンジ支援事業（H26.2月補正、H28当初・農水）
- ・ 農業経営基盤強化対策事業（H28当初・農水）
- ・ 6次産業化モデル事業（H26.2補正、H27当初、H27.2月補正、H28当初・農水）
- ・ 担い手確保・経営強化支援事業（H27.2補正・農水）

③未来を切り開く農産物の生産技術の開発・普及

○米・麦・大豆や園芸品目などについて、新品種の育成や、省力・低コストなどの生産技術の開発と普及を進め、高品質で競争力の強い農産物の生産・供給を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

普及に移した開発技術数（年間）

[現状（直近5年平均）]29件/年 → [目標（H31）]30件以上/年

（具体的な事業）

- ・新富山ブランド米開発加速化事業（H27当初・農水）
- ・家畜改良増殖対策事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・とやま型水田農業革新技術普及事業（H28当初・農水）
- ・富山米新ブランド確立加速化緊急事業（H28当初・農水）

林業

④森林資源の循環利用につながる県産材供給体制の強化と需要拡大

○林業生産性を向上させるため、路網整備や高性能林業機械等の林業生産基盤を計画的に整備し、県産材を使用する住宅や公共施設の木造化・内装木質化に対して支援を行うほか、新たな木質部材や工法の開発により、県産材の需要を拡大

◆重要業績評価指標（KPI）：

県産材生産量

[現状（H26）]72千m³ → [目標（H31）]110千m³

（具体的な事業）

- ・高性能林業機械等整備助成事業（H26.2月補正、H28当初・農水）
- ・路網整備地域連携モデル事業（H26.2月補正・農水）
- ・路網整備推進事業（H28当初・農水）
- ・森林資源高度利用促進事業（H28当初・農水）
- ・地域材活用施設整備事業（H26.2月補正、H28当初・農水）
- ・地方創生推進基盤整備事業（H27.9月補正・農水、土木）[再掲]

⑤林業の担い手の確保・育成と林業事業者の経営基盤の強化

○林業への就業支援や新規就業者のスキルアップを図るため、林業担い手センターと富山県林業カレッジの取組みを支援するとともに、担い手が長期間働き続けられる就労環境を確保するため、通年雇用や収入の安定などに取り組む事業者を支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

林業就業者数

[現状（H26）]475人 → [目標（H31）]500人

（具体的な事業）

- ・林業人づくり総合支援対策事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・とやま型冬期林業チャレンジ支援事業（H26.2月補正、H28当初・農水）

水産業

⑥水産資源の増大・環境保全による豊かな海づくりの推進

- 漁場環境の保全を図るため、富山湾全体の総合的な漁場環境調査を実施
- 漁獲制限のための公的な漁業管理や漁業者が自主的に取り組む資源管理の推進による水産資源の保護を図るとともに、本県を代表するブランド魚であるブリの漁獲量の変動要因の解明に向けた調査・分析やシロエビの生息環境調査を実施
- 沿岸漁業の重要な漁獲対象資源の増大を図るため、次世代栽培漁業対象魚種であるキジハタ・アカムツの種苗生産の早期事業化のための技術開発を加速化
- 平成27年10月に開催された「全国豊かな海づくり大会」で高まった、豊かな海・川づくりの機運を未来に引継ぐため、次代を担う子どもたちに「魚を自ら育てる」体験を提供するなど、「豊かな海づくり運動」を一層推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

沿岸漁業の生産量

[現状（H26）]20,929 t → [目標（H31）]23,729 t

（具体的な事業）

- ・富山湾漁場環境総合調査事業（H27.2月補正・農水）
- ・ブリ資源回復調査事業（H27.2月補正・農水）
- ・シロエビ生息海域環境調査事業（H27.2月補正・農水）
- ・キジハタ・アカムツ種苗生産加速化研究事業（H27.2月補正・農水）
- ・資源管理・漁業経営安定化対策推進事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・栽培漁業振興推進事業費（H27当初、H28当初・農水）
- ・豊かなとやまの海づくり体験事業（H28当初・農水）
- ・海の森づくり事業（H27当初、H28当初・農水）

⑦漁業の担い手の確保・育成と経営基盤の強化

- 「とやま漁業担い手センター」等の事業を充実し、新規就業者の確保と漁業経営力に優れた漁業者の育成を図るとともに、各地域の中核となる漁業者を育成
- 設備資金や運転資金の制度資金の拡充と信用保証制度の効率的な活用を行うとともに、漁業経営の安定、改善を図るため、漁業経営に関する研修や情報の提供体制を整備
- 平成28年1月から禁止となったロシア水域におけるさけ・ます流し網漁について、禁漁を余儀なくされた本県漁業者が今後も引き続き遠洋・沖合漁業を継続できるよう支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

漁業就業者のうち若手就業者（40歳未満）の構成割合

[現状（H25）]27.2% → [目標（H31）]32%

（具体的な事業）

- ・漁業担い手確保育成対策費（H27当初、H28当初・農水）
- ・漁協青年部・女性部連合会活動推進事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・漁業金融等対策事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・栽培漁業振興推進事業（漁業経営指導業務）（H27当初、H28当初・農水）[再掲]
- ・北洋さけ・ます漁船処理事業（H28当初・農水）

⑧「富山のさかな」ブランド化・高付加価値化

- ブリ、ホタルイカ、シロエビに次ぐ新たなブランド魚として、県産「紅ズワイガニ」のトップブランド化を図るとともに、各浜発のブランド魚の育成を推進・支援する。
- 県内外でのPR活動の拡充や北陸新幹線を活かした首都圏や沿線各県からの「富山のさかな」を目当てとした観光客の受入れ促進等により、「富山のさかな」全体の高付加価値化やイメージアップ、認知度の向上を図り、販路拡大を推進
- 県内事業者などが行う水産物や水産加工品の商品開発・改良等の「富山のさかなのブランド化」を支援し、県内水産加工品等の国内外への販路拡大による売上向上を促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

県産代表6魚種の魚価（kgあたり年平均単価）

[現状（H25）]656円/kg → [目標（H31）]690円～720円/kg

水産物直販施設の入込客数

[現状（H26）]215万人 → [目標（H31）]237万人

水産物の地域団体商標登録

[現状（H26）]2商品 → [目標（H31）]3商品以上

（具体的な事業）

- ・「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業（H27.2月補正・農水）
- ・「富山のさかな」ブランド化推進事業（H27当初・農水）

輸出促進関連

⑨とやまの農林水産物の輸出促進

- 県内農林水産物の体質強化や成長産業化に向け、県産農林水産物等のより効率的・効果的な輸出促進を図るため、品目別輸出方針の検討や発展段階に応じた事業者への支援を実施

◆重要業績評価指標（KPI）：

農林水産物の輸出に取り組む事業者数

[現状（H26）]17社 → [目標（H31）]30社

（具体的な事業）

- ・とやまの農林水産物輸出促進事業（H26.2補正、H27.2補正・農水）
- ・とやまの農林水産物輸出戦略支援体制強化事業（H27.2補正、H28当初・農水）
- ・地域農業成長産業化戦略推進事業（H28当初・農水）[再掲]
- ・6次産業化モデル事業（H26.2補正、H27当初、H27.2月補正、H28当初・農水）[再掲]
- ・「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業（H27.2月補正・農水）[再掲]

（オ）環境・エネルギー産業の育成

①「環境・エネルギー先端県」づくりに向けた廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進、エコライフスタイルの定着促進

- 「次世代環境産業」への転換に向けた廃棄物処理業者の育成、今後の高齢化・人口減少に対応した効率的・効果的なごみ処理体制の構築の検討など廃棄物のリサイクルを推進
- ごみの排出抑制やCO₂の削減のため、全国初の県内全域でのレジ袋無料配布廃止や「とやまエコ・ストア制度」などエコライフスタイルの定着促進に向けた施策を展開

○環境産業の国際競争力強化を図るため、産学官連携による企業の海外展開支援とグローバル人材の育成・確保を実施

◆重要業績評価指標（KPI）：

一般廃棄物再生利用率

[現状（H25）]22.2% → [目標（H32）]27%以上

産業廃棄物減量化・再生利用率

[現状（H25）]95.9% → [目標（H32）]97%以上

環境美化活動参加者数

[現状（H26）]8万人 → [目標（H31）]13万人

県内環境関連企業の海外展開に関するサポート件数

[現状（H26）]0件 → [目標（H31）]50件（H27～H31累計）

（具体的な事業）

- ・循環資源活用推進事業費（H27当初、H28当初・生環）
- ・とやまエコ・ストア制度（H27当初、H28当初・生環）
- ・G7富山環境大臣会合関連イベント開催事業（H27.9月補正・生環）
- ・とやま環境グローバルリーダー育成国際塾事業（H27.9月補正・生環）
- ・とやまの次世代型環境産業海外展開支援事業（H27.9月補正・生環）
- ・産業廃棄物再生利用促進事業（H28当初・生環）
- ・世界で最も美しい湾の海岸美化事業（H28当初・生環）
- ・とやま環境関連企業海外展開支援事業（H28当初・生環）

②家庭や事業所の省エネルギー化の推進による温室効果ガス排出量の削減

○環境にやさしいライフスタイルや環境教育の推進により県民の省エネルギー意識の醸成を図るとともに、住宅の断熱化や省エネルギー機器の導入促進等による家庭の省エネルギー化を推進

○環境マネジメントシステムの普及促進を図るとともに、機器の運用改善、建築物の断熱化、省エネルギー機器の導入促進等による事業所の省エネルギー化を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

温室効果ガス排出量の削減率（H17年度比）

[現状（H24）]14%増加 → [目標（H32）]8%以上削減

事業所ビル等の延床面積当たりのエネルギー消費量の削減率（H14年度比）

[現状（H24）]14.0%削減 → [目標（H32）]32%以上削減

（具体的な事業）

- ・とやま環境チャレンジ10（H27当初、H28当初・生環）
- ・地球温暖化防止活動推進センター支援事業（H27当初、H28当初・生環）
- ・エコアクション21推進事業（H27当初、H28当初・生環）
- ・G7富山環境大臣会合開催記念シンポジウム開催事業（H28当初・生環）
- ・とやまエコ活動宣言事業（H28当初・生環）

③ものづくり技術を活かした産官学連携によるエネルギー関連技術の研究開発

○環境にやさしい製品等の普及や、国、企業、大学等と連携した再生可能エネルギー、省エネルギー、未利用エネルギー、リサイクル、次世代自動車の技術開発の推進等のグリーンイノベーションの加速化

◆重要業績評価指標（KPI）：

環境・エネルギー分野に係る産学官共同研究件数（累計）

[現状（H26）]13件 → [目標（H31）]18件

（具体的な事業）

- ・産学官連携推進支援事業（新商品・新事業創出枠 環境・エネルギー分野）
（H27当初・H28当初・商労）[再掲]
- ・とよま次世代自動車・エネルギーインフラ研究事業（H27当初・H28当初・商労）[再掲]
- ・中小企業制度融資資金（新成長産業育成支援資金）（H27当初・H28当初・商労）[再掲]

④小水力発電や太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進

○農業用水等を活用した小水力発電所やメガソーラーによる太陽光発電所等の整備、地熱資源の活用検討など、再生可能エネルギーの導入によるエネルギー源の多様化を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

農業用水等を活用した小水力発電所の運転箇所数

[現状（H26）]26箇所 → [目標（H31）]43箇所

県内初の地熱発電所（バイナリー式発電含む）の建設

[現状（H26）] ー → [目標（H31）] 1箇所以上の建設着手

（具体的な事業）

- ・団体営地域用水環境整備事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・上百瀬発電所（仮称）建設事業（H27当初、H28当初・企業）
- ・富山新港太陽光発電所（仮称）建設事業（H27当初・企業）
- ・新エネルギー普及促進事業費（H27当初、H28当初・商労）
- ・木質バイオマス利用施設等整備事業（H26.2月補正・農水）
- ・地熱発電開発可能性調査事業（H27.9月補正・企業）
- ・地熱資源開発調査事業（H28当初・企業）
- ・三谷発電所（仮称）建設事業（H28当初・企業）

2 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり

(ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進

①官民連携による若者や女性等のU I Jターンの推進

- 学生や社会人のU I Jターン就職を促進するため、就職セミナーや合同企業説明会を開催するとともに、人口流出の大きい20代の女性や、高度な知識や技術、豊富な経験を有する首都圏等の人材に焦点を当てたU I Jターン就職対策の推進
- 産業界と連携し、将来の地域産業の担い手となる学生の奨学金返済を支援し、県内企業への就職の促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

富山県暮らし・しごと支援センター就職マッチング件数

[現状 (H26)]180人 → [目標 (H31)]240人

(具体的な事業)

- ・Uターン人材マッチング促進事業 (H26.2月補正、H28当初・商労)
- ・Uターン女子応援プロジェクト事業 (H27.2月補正・商労)
- ・Uターン女子応援カフェ事業 (H26.2月補正・商労)
- ・Uターンフェア・イン・とやま (H27当初、H27.2月補正・商労)
- ・Uターンサポートフェア (国・商労)
- ・産業振興のための若者定着支援基金 (H27当初・商労)
- ・プロフェッショナル人材確保事業 (H27.9月補正、H27.2月補正・商労)
- ・とやまビジネスリサーチ in JAPAN (H27.9月補正、H27.2月補正・商労)
- ・県内企業採用力アップ研修事業 (H27.2月補正・商労)
- ・U I Jターン転職支援事業 (H27.2月補正・商労)

②県内大学生等への県内企業の魅力発信の強化

- 県内大学3年生を対象にした就職セミナー等を開催するほか、経済団体等と連携したインターンシップを実施、あわせて県外出身大学生とその父母への県内企業の魅力や本県の住みやすさ・暮らしやすさのアピール等により、県内大学生等の県内定着を促進
- ウェブサイト等による中小企業の魅力発信や県内中小企業の若手職員等が参加する学生向けセミナー、採用担当者向けに企業PR力向上のための実践的な研修の開催等により、中小企業と若者のマッチングの促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

県内大学等新規学卒者の県内就職率

[現状 (H26)]64.1% → [目標 (H31)]67.5%以上

県外出身の県内大学等卒業生の県内就職率

[現状 (H26)]16.3% → [目標 (H31)]20%

(具体的な事業)

- ・とやまで就職！県内学生応援事業 (H26.2月補正・商労)
- ・県内大学生県内定着促進事業 (H27当初、H28当初・商労)
- ・県内中小企業マッチング促進事業 (H27当初、H28当初・商労)
- ・インターンシップ活動事業 (H27当初、H28当初・商労)

- ・ 県内企業採用力アップ研修事業（H27.2月補正・商労）[再掲]
- ・ 富山のしごと・くらしアピール事業（H27.2月補正・観地）

③ヤングジョブとやま等での就職情報提供・相談や企業説明開催など若者の就業支援

- 富山県若者就業支援センター（ヤングジョブとやま）とハローワークによる就職に関する情報提供や相談、各種セミナー、企業説明会の開催など、若者の就業支援
- 若者サポートステーションとハローワークの連携によりニート等の若者の就業、自立を総合的に支援する体制の強化

◆重要業績評価指標（KPI）：

若者の就業率（15～34歳の人口に占める就業者の割合）

[現状（H22）] 64.8% → [目標（H31）] 64.8%以上

（具体的な事業）

- ・ 富山県若者就業支援センター企画運営業務（H27当初、H28当初・商労）
- ・ 若者自立支援ネットワーク形成事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・ 県内中小企業マッチング促進事業（H27当初、H28当初・商労）[再掲]

④企業等での男女共同参画や女性の活躍推進、様々な分野で活躍できる女性の人材育成

- 企業や経済団体、関係機関等と連携し、女性が活躍しやすい環境づくりを推進
- 事業者・団体等に対し、男女共同参画や女性の活躍推進に向けた働きかけを行うとともに、さまざまな分野で活躍できる女性の人材育成を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

管理的職業従事者に占める女性の割合

[現状（H22）] 5.7% → [目標（H31）] 9.8%

専門的・技術的職業従事者のうち研究者及び技術者における女性の割合

[現状（H22）] 11.8% → [目標（H31）] 14.1%

男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所数

[現状（H26）] 167事業所 → [目標（H31）] 230事業所

（具体的な事業）

- ・ 富山県女性の活躍推進連携協議会の開催 [再掲]（H27当初、H28当初・生環）
- ・ 男女共同参画チーフ・オフィサー連携等強化事業（H28当初・生環）[再掲]
- ・ 煌めく女性ネットワーク事業[再掲]（H28当初・生環）
- ・ 女性が輝く元気企業とやま賞表彰事業（H27当初・生環）[再掲]

（イ）高等教育機関の魅力向上

①高等教育機関の魅力向上と県をはじめとした地域との連携強化

- 教育水準の向上や学術研究機能の強化など、高等教育機関の魅力向上への支援を行うとともに、学生の確保、単位互換、FD研修（教員の資質向上研修）など、県内高等教育機関が相互に連携して行う大学コンソーシアム富山の取組みへの支援

- 県と高等教育機関の連携により、教員の養成や資質向上の推進、高校での大学教員による専門性の高い授業の実施などの高大連携、高等教育機関の教員と連携したふるさと学習の推進、医師及び看護職員の県内定着促進や育成支援、医薬品産業の振興に向けた研究開発の推進、産学官共同研究の推進など、知の拠点としての機能を活かした幅広い分野における事業を推進
- 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」^(*)を活用した県内高等教育機関や産業界、市町村等との連携協力により、雇用創出や新規学卒者の地元定着を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

県内大学・短大入学者の県内比率

[現状（H26）]45% → [目標（H31）]50%

競争的資金（科学研究費）の獲得数

[現状（H26）] — → [目標（H31）]2,000件（5ヵ年累計）

県内高等教育機関における県内企業との共同研究件数

[現状（H26）]104件 → [目標（H31）]110件

COC+参加大学における卒業生の県内就職率

[現状（H26）]54.8% → [目標（H31）]64.8%

（具体的な事業）

- ・高等教育機関整備企画推進費（H27当初、H28当初・知政）
- ・フロンティア研究推進事業（H27当初、H28当初・商労）
- ・和漢薬連携研究推進事業（H27当初、H28当初・厚生）
- ・バイオテクノロジー連携研究推進事業（H27当初、H28当初・厚生）

***地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）**：大学が地方公共団体と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組みを支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする国の補助事業

②県立大学の教育研究体制の充実と若者の地元定着のための環境整備

- 少人数教育、キャリア教育など体系的な教育体制の充実を通じ、本県の未来を担い、企業や社会に有為な人材を輩出する教育の推進
- 戦略的創造研究推進事業（ERATO）など最先端の研究や、先端分野や環境分野における持続可能な社会の実現に向けた研究開発の拠点づくりなどを一層推進
- 産業界のニーズを踏まえた学科の拡充や定員増に加え、新たに看護学部を新設するなど、県内で高等教育を受ける環境を整備し、県内定着を促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

県立大学志願倍率

[現状（H27）]4.3倍 → [目標（H32）]5倍台

県立大学の県内企業就職率

[現状（H26）]42.0% → [目標（H32）]55%以上

(具体的な事業)

公立大学法人振興事業のうち(知政)

- ・ 県立大学施設整備基本設計費 (H27 当初、H27.9 月補正、H27.2 月補正・知政)
- ・ 県立大学入学定員 100 名増に伴う学生募集広報 (H27.2 月補正、H28 当初・知政)
- ・ 県立大学学科拡充・新設推進事業 (H28 当初・知政)
- ・ 県立大学県内就職定着促進事業 (H26.2 月補正、H28 当初・知政)
- ・ 県立大学看護学部整備事業 (H27.9 月補正、H28 当初・厚生)

③私立専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援

○専修学校等が行う実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援、大学等が行う社会人を対象とした公開講座や高度かつ専門的な教育の充実

◆重要業績評価指標 (KPI) :

県立大学の公開講座受講者数

[現状 (H26)] 270 人 → [目標 (H27~H31 平均)] 320 人/年

(具体的な事業)

- ・ 私立専修学校特色教育振興事業 (H27 当初、H28 当初・知政)
- ・ 私立専修学校各種学校施設設備整備補助事業 (H27 当初、H28 当初・知政)
- ・ 私立専修学校各種学校開放講座開催補助事業 (H27 当初、H28 当初・知政)

(ウ) 地域の魅力創生

①世界文化遺産登録への取り組み等を通じた地域の魅力の発掘・再発見

○「立山・黒部」等ふるさと富山において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘・再発見する取り組みを促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

県内に自信をもって誇れるものがたくさんあると思う人の割合

[現状 (H26)] 25.3% → [目標 (H31)] 30%

(具体的な事業)

- ・ 世界遺産登録推進事業 (H26.2 月補正、H27 当初、H28 当初・知政)
- ・ ふるさと魅力発見・PR事業 (H27 当初、H28 当初・観地)

②自然や歴史・文化など地域の魅力向上やまちづくりへの支援

○自然や歴史・文化など地域資源や地域の魅力を発掘するとともに、こうした地域の特色・強みを活かしながら、持続可能で活力あるまちづくりを進める市町村や地域住民等が連携した取り組みを支援

○富岩運河環水公園について、富山県美術館の整備や、「富岩水上ライン」の運航、四季折々のイベント等による一層の魅力向上など、自然豊かな水辺空間の賑わい創出と活性化を推進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

まちの未来創造モデル事業のモデル地域数

[現状 (H27)] 3 地域 → [目標 (H31)] 15 地域

地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数

[現状 (H26)] 56 法人 → [目標 (H31)] 75 法人

住みよさランキング (東洋経済新報社)

[現状 (H27)] 50 位以内に7市(全国最多) → [目標 (H31)] 増加させる

(具体的な事業)

- ・ まちの未来創造モデル事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・ まちづくり総合支援事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・ 歴史と文化が薫るまちづくり事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・ 歴史と文化が薫る商店街モデル事業 (H27 当初、H28 当初・商労)
- ・ 地域文化力向上・活性化支援事業 (H27 当初、H28 当初・生環)
- ・ 環水公園賑わい空間創出事業 (H26.2月補正、H27 当初、H27.9月補正、H28 当初・観地)

③美しい自然や田園景観、歴史的・文化的まち並みなど地域の個性を活かした景観づくりを推進

○美しい自然景観や田園景観の保全、歴史や文化を活かしたまち並みづくり、市街地等における美しいまちづくりなど地域の個性を活かした魅力的な景観づくりを推進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

景観づくり住民協定の締結数

[現状 (H26)] 10 地区 → [目標 (H31)] 12 地区

(具体的な事業)

- ・ うるおいある景観づくり推進事業 (H27 当初、H28 当初・土木)
- ・ 美しい農村景観整備事業 (H27 当初、H28 当初・農水)
- ・ 棚田地域水と土保全基金事業 (H27 当初、H28 当初・農水)

④四季折々の花と緑あふれる快適な地域づくり

○県民の参加により、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境の形成

◆重要業績評価指標 (KPI) :

花と緑の指導者数

[現状 (H26)] 2,144 人 → [目標 (H31)] 2,200 人

(具体的な事業)

- ・ 花と緑の銀行事業 (H27 当初、H28 当初・農水)
- ・ 富山のさくら普及啓発事業 (H27 当初、H28 当初・農水)
- ・ 新幹線駅周辺花いっぱいおもてなし事業 (H27 当初、H28 当初・農水)

3 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

(ア) 選ばれ続ける観光地づくり

①戦略的な観光地域づくり

○首都圏をはじめ全国からの旅行者や外国人旅行者の増加等により多様化、高度化するニーズに対応するため、日本版DMO^(※)として県観光連盟を機能強化し、観光マーケティング等に基づく戦略的な観光地域づくりを促進

○旅行者の満足度を高め、「また来たい」と感じてもらえる観光地となるため、質の高い観光人材の育成や、旅行者の受入環境整備、観光産業と他産業の連携促進、事業者・県民のおもてなし意識の向上への取組を実施

*DMO=Destination Marketing/Management Organization

ビッグデータ等を活用した効果的なマーケティング・戦略策定、様々な地域資源を組み合わせた観光素材の発掘・磨き上げ、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション等を通じ、地域が一体となって行う観光地域づくりの推進主体

◆重要業績評価指標 (KPI) :

観光消費額 (対象: 宿泊客及び日帰り客、来訪目的: 観光及びビジネス)

[現状 (H26)] 1,292 億円 → [目標 (H31)] 2,067 億円

観光消費額 (対象: 宿泊客、来訪目的: 観光)

[現状 (H26)] 342 億円 → [目標 (H31)] 547 億円

(具体的な事業)

- ・日本版DMO活動事業 (H27.2 補正・観地)
- ・とやま観光未来創造塾事業 (H26.2 補正、H28 当初・観地)
- ・観光地域リニューアル支援事業 (H27 当初・観地)
- ・おもてなしタクシードライバー養成事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・旅行者のおもてなし環境・拠点の魅力向上検討事業 (H26.2 補正・観地)
- ・観光地域づくりマーケティング調査検討事業 (H27.9 月補正・観地)

②広域観光の拠点化

○2020 年東京オリンピック・パラリンピックによる訪日外国人旅行者のさらなる増加をも見据え、広域観光案内などの旅行者向けサービスをワンストップで行う「訪日旅行・富山旅行センター」を設置するなど、海外からの個人旅行者 (FIT) をはじめとする旅行者の受入体制を充実

○旅行者の滞在時間増加を図るため、二次交通の一層の利便性向上により、旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるとともに、新幹線駅など広域観光の拠点となる交通結節点周辺の賑わい創出や魅力向上を促進

◆重要業績評価指標 (KPI) :

宿泊者数 (宿泊旅行統計調査における県内での宿泊者数)

[現状 (H26)] 3,489 千人 → [目標 (H31)] 5,200 千人以上

(具体的な事業)

- ・訪日旅行・富山旅行センター運営事業 (H27.2 月補正・観地)
- ・富山駅前アンテナショップの整備 (H27.2 月補正・観地)

- ・ぐるっと富山 観光地アクセス充実事業（H26.2月補正、H27.2月補正・観地）
- ・訪日旅行・富山旅行センター開設準備事業（H27.9月補正・観地）

③富山らしい魅力創出

○富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げをさらに進め、四季を通じて県内での観光・滞在を楽しめるプランを充実させることにより、大勢の観光客が駆け足で通り過ぎていく観光から、四季折々の豊かな自然・食・文化等の上質なライフスタイルをゆっくりと楽しみ共感できる観光へと、本県観光の質的転換を促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

旅行者満足度

[現状（H26）] 71% → [目標（H31）] 80%以上

（具体的な事業）

- ・日本版DMO活動事業（H27.2補正・観地）【再掲】
- ・着地型旅行商品ブラッシュアップ事業（H26.2月補正・観地）
- ・「世界で最も美しい富山湾」PR推進事業（H26.2月補正、H27.9月補正・観地）
- ・環水公園賑わい空間創出事業（H26.2月補正、H27当初、H27.9月、H28当初・観地）

④戦略的なプロモーション

○マーケティングに基づき、ターゲットに応じて媒体を選定しながら、「海のあるスイス」のブランドイメージや食・文化等上質な富山のくらしの魅力発信等への取組みを実施
また、JRや大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーションや、映画・ドラマ等の制作誘致への積極的な取組みを実施

◆重要業績評価指標（KPI）：

宿泊者数（宿泊旅行統計調査における県内での宿泊者数）

[現状（H26）] 3,489千人 → [目標（H31）] 5,200千人以上

（具体的な事業）

- ・日本版DMO活動事業（H27.2補正・観地）【再掲】
- ・新旅行造成市町村タイアップ事業（H27当初・観地）
- ・JRタイアップ富山旅行定着促進事業（H28当初・観地）
- ・北陸新幹線開業効果活用誘客促進事業（H27当初・観地）
- ・東北における物産と観光展開催事業（H28当初・観地）
- ・「とやまスタイル」体験推進事業（H27.2月補正・観地）
- ・北陸アフターDC誘客促進事業（H27.2月補正・観地）
- ・富山県・飛騨地域連携誘客促進事業（H27.2月補正・観地）
- ・観光季刊誌「ねまるちゃ」制作事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・関西圏戦略的PR事業（H26.2月補正・観地）
- ・首都圏情報発信拠点運営事業（H27.2月補正、H28当初・観地）
- ・首都圏とやまの魅力発信事業（H27.2月補正、H28当初・観地）

⑤国際観光の推進

○外国人旅行者の国・地域別のニーズや嗜好を踏まえつつ、県内外の魅力ある観光資源を組み入れた、広域的な観光周遊ルートの開発・形成を促進。外国人個人旅行者（FIT）に対応した着地型の観光商品の開発、観光地・宿泊施設・交通機関等での外国語やピクトグラム（絵文字）による説明・案内の充実など、外国人旅行者の受入・滞在環境の整備を促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

外国人宿泊者数

[現状（H26）]147千人 → [目標（H31）] 560千人

（具体的な事業）

- ・国際観光広域連携事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・欧米等FIT（外国人個人旅行者）向け着地型商品造成事業（H28当初・観地）
- ・ミシュランガイド活用欧米誘客促進事業（H28当初・観地）
- ・インド観光誘客促進事業（H28当初・観地）
- ・台湾観光説明会事業（H28当初・観地）
- ・中国誘客強化事業（H28当初・観地）
- ・東南アジア誘客事業（H26.2月補正、H28当初・観地）
- ・東アジア誘客メディア発信事業（H26.2月補正・観地）
- ・北陸新幹線開業FIT（外国人個人旅行者）向け案内動画制作事業（H26.2月補正・観地）
- ・外国人観光客レンタカー利用応援事業（H26.2月補正・観地）
- ・富山・長野・石川広域周遊観光推進事業（H27.9月補正・観地）

⑥コンベンションの誘致促進

○コンベンションの誘致は、地域への高い経済波及効果はもとより、学術や教育、産業の振興への寄与も期待できることから、医薬品、ものづくりなど本県が強みを有する分野をはじめとするコンベンション誘致をさらに進めるとともに、主催者・参加者の満足度を高め、「また富山で開こう」と思ってもらえるよう受入態勢を強化。とりわけ、国際会議の開催は、本県の国際的な認知度向上も期待されることから、積極的に誘致を実施

◆重要業績評価指標（KPI）：

コンベンション参加者数

[現状（H26）]86,077人 → [目標（H31）] 91,000人

コンベンション開催件数

[現状（H26）]255件 → [目標（H31）]270件

国際会議開催数

[現状（H26）]16件 → [目標（H31）]27件

（具体的な事業）

- ・国際会議「富山で開こう。」推進事業（H28当初・観地）
- ・コンベンション誘致宣伝事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・学会等開催支援事業（H27当初、H28当初・観地）

(イ) 富山のブランドカアアップ

①首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランドカアアップ

- 戦略的な情報発信拠点「日本橋とやま館」を新たに東京・日本橋に開設し、物販、観光のほか、本格和食レストランの設置により、富山の魅力を首都圏に向けて強力に発信
- 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認された富山湾のさらなる国際的ブランド力向上に向け、富山湾岸サイクリングコースの活用やマリンスポーツの振興、クルーズ客船の誘致など、その多彩な魅力を活用・保全する取組みを推進
- 「富山県推奨とやまブランド」や、その認定を目指す「明日のとやまブランド」により、県産品や県内事業者のブランド力強化を促進
- 「とやま大使」、「とやまファン倶楽部」等の人的ネットワークや、県ホームページ、テレビ等の多様な広報媒体を活用し、富山の魅力を国内外に向けて継続的に発信

◆重要業績評価指標 (KPI) :

アンテナショップへの来店者数

[現状 (H26)] 49.1 万人 → [目標 (H31)] 110 万人

「富山県推奨とやまブランド」の認定件数

[現状 (H26)] 13 品目 → [目標 (H31)] 15 品目

(具体的な事業)

- ・首都圏情報発信拠点推進事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・富山湾岸・田園サイクリングコース活用推進事業 (H27. 2 月補正・観地)
- ・富山湾マリンスポーツ誘客プロモーション事業 (H27. 2 月補正・観地)
- ・船舶オーナー向け魅力創出事業 (H27. 2 月補正・観地)
- ・環日本海クルーズ推進事業 (H27 当初、H27. 2 月補正、H28 当初・観地)
- ・新湊マリーナ建設事業 (H27 当初、H27. 9 月補正、H28 当初・土木)
- ・「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・「明日のとやまブランド」育成支援事業 (H27 当初、H28 当初・観地)
- ・首都圏メディア PR 事業 (H27 当初・経管)
- ・東京圏メディア連携プロモーション事業 (H27 当初・知政)
- ・田園サイクリングコース整備事業 (H28 当初・土木)
- ・首都圏情報発信拠点魅力発信推進事業 (H27. 9 月補正・観地)
- ・首都圏情報発信拠点開業準備促進事業 (H27. 11 月補正・観地)
- ・首都圏情報発信拠点運営事業 (H27. 2 月補正、H28 当初・観地)
- ・首都圏とやまの魅力発信事業 (H27. 2 月補正、H28 当初・観地)
- ・首都圏観光・定住促進事業 (H28 当初・観地)
- ・首都圏販路開拓推進事業 (H27. 2 月補正・観地)

②富山ならではの優れた新商品・新サービスのブランド化推進

- 富山ならではの優れた新商品・新サービスの開発支援、選定制度を活用した販路開拓支援

◆重要業績評価指標 (KPI) :

地域資源・北陸新幹線開業等に関連した新商品・新サービス開発件数

[現状 (H26)] 141 件 → [目標 (H31)] 241 件

(具体的な事業)

- ・ビジター対応ビジネス支援事業（とやま中小企業チャレンジファンド）
（H27 当初、H28 当初・商労）
- ・地域資源ファンド事業（H27 当初、H28 当初・商労）
- ・続け！まちの逸品事業（H27 当初・商労）
- ・「べつばら富山」販売促進事業（H28 当初・商労）
- ・富山のデザイン発信力強化事業（H26.2月補正、H27.2月補正・商労）

③季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

○季節に応じた富山の食の魅力の発信や富山の食を味わうイベントの開催、「富のおもちかえり」商品等のPR、「ふるさと認証食品」制度による新たなブランド食品の育成、「食のとやまブランド」を支える「とやま食の匠」の認定と活動支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

「富のおもちかえり」商品の売上額

[現状（H26）] — → [目標（H31）]10,000万円/年

「越中富山幸のこわけ」商品の売上額

[現状（H26）]10,763万円/年 → [目標（H31）]23,000万円/年

「べつばら富山」商品の売上額

[現状（H26）]10,200万円/年 → [目標（H31）]16,600万円/年

(具体的な事業)

- ・越中とやま食の王国づくり事業（H27 当初、H28 当初・農水）
- ・おもてなし「越中料理」魅力発信事業（H27 当初、H28 当初・観地）
- ・「富のおもちかえり」販路拡大事業費（H28 当初・農水）
- ・「美味しい富山米」魅力発信事業（H28 当初・農水）
- ・富山オリジナル日本酒開発支援事業（H28 当初・農水）
- ・「とやまの食」魅力発信事業（H27.2月補正・農水）
- ・「富山のさかな」ブランド化推進事業（H27 当初、H27.2補正・農水）

(ウ) 定住・半定住の環境づくり

①「くらしたい国、富山」の魅力発信・相談体制の充実

- 「富山くらし・しごと支援センター」における仕事と住まいの一元的な相談体制の充実、東京在住の本県出身者や富山ファンが企画・実施する若者向け定住セミナーの開催支援、「とやま移住応援団」制度による移住の準備段階で必要となるサービスの料金割引等の支援など、「くらしたい国、富山」推進本部を中心に富山暮らしの魅力を発信
- 民間事業者と連携したセミナーや相談会による空き家情報の発信、空き家物件のマッチングを図るコーディネーターの配置など、本県の恵まれた居住環境を活かした空き家の利活用と定住・半定住の促進

- これまでも高齢者などを含めた幅広い世代の移住を促進してきたが、大都市部の高齢者が地方へ移住し、多世代と交流しながら活動的な生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けるという構想（C C R C構想）について、国等の動向を注視しながら、施策のあり方について検討

◆重要業績評価指標（KPI）：

県・市町村の相談窓口等を通じた移住者数

[現状（H26）]411人 → [目標（H31）]700人

移住希望先ランキング（NPOふるさと回帰支援センター）

[現状（H26）]9位 → [目標（H31）]5位以内

人口の社会増減数

[現状（H26）]▲1,147人（転出超過） → [目標（H31）]+100人（転入超過）

（具体的な事業）

- ・「くらしたい国、富山」推進本部事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・とやまコネクト・カレッジ支援事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・富山暮らしPR映像製作事業（H27当初・観地）
- ・空き家コーディネート推進事業（H26.2月補正、H28当初・土木）
- ・富山くらし・しごと支援センター相談・発信強化事業（H27.9月補正・観地）
- ・「富山くらし・しごと支援センター」運営充実事業（H28当初・観地）
- ・介護人材移住意向調査事業（H27.9月補正・観地）
- ・介護人材移住応援事業（H27.2月補正・観地）
- ・伝統工芸人材移住促進事業（H27.9月補正・観地）

②北陸新幹線開業効果を活かした移住体験機会等の拡大

- 新幹線開業による時間短縮効果を活かし、沿線県や日本海側の県などと連携した暮らし・仕事体験ツアー、Uターン就職相談会を併せて行う大規模な「30歳の同窓会 in とやま」の開催など、富山暮らしの体験やUIJターン機会の拡大

◆重要業績評価指標（KPI）：

移住希望先ランキング（NPOふるさと回帰支援センター）

[現状（H26）]9位 → [目標（H31）]5位以内

（具体的な事業）

- ・「くらしたい国、富山」推進本部事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・北陸新幹線沿線4県合同移住イベント開催事業（H27当初・観地）
- ・「30歳の同窓会 in とやま」開催事業（H27当初、H27.2月補正・観地）
- ・北陸3県連携定住ツアー事業（H27.2月補正予算・観地（H27.2月補正・観地）

③意欲ある地域住民による移住者の受入促進

- 国内外からの移住者増に結びついている中山間地域や、若手クリエイターの移住に取り組む伝統工芸のまちなどの「定住者受入モデル地域」について、対象地域を拡大するとともに、空き家を活用した宿泊体験や地域住民との交流、伝統工芸の体験等ができる施設の整備、当該施設を中心とした特産品開発のための農機具など地域づくりに必要な備品の整備

など、定住者の受入れを総合的に支援

○県外からの移住者が行う個人の空き家改修について、魅力あるまちづくりの観点から望ましい家屋などに対し支援

◆重要業績評価指標（KPI）：

定住者受入モデル地域

[現状（H26）]4地域 → [目標（H31）]10地域

（具体的な事業）

- ・定住・半定住モデル地域育成支援事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・定住者受入体制ネットワーク構築事業（H27当初、H28当初・観地）
- ・定住者受入モデル地域トータルサポート事業（H27.9月補正、H27.2月補正・観地）
- ・移住促進のための空き家改修支援事業（H27.9月補正、H28当初・観地）

④豊かで魅力ある中山間地域の実現【再掲】

○中山間地域ならではの資源の活用・高付加価値化を図り、所得の拡大などに取り組む地域への支援を行うとともに、人材確保に向けた定住・半定住のための情報発信、都市との交流に向けた受入体制の整備等を推進

◆重要業績評価指標（KPI）：

年間の農林漁業体験者数

[現状（H26）]52,000人 → [目標（H31）]67,000人

（具体的な事業）

- ・とやま型中山間地域資源利活用モデル構築事業（H26.2月補正・農水）
- ・とやま型中山間地域資源利活用推進事業（H27.2月補正・農水）
- ・とやま農山漁村地域活力創生支援事業（H26.2月補正、H28当初・農水）
- ・とやま帰農塾推進事業（H27当初、H28当初・農水）

⑤農林漁業体験等を通じた首都圏などとの交流の促進

○農林漁業体験を通じた都市との交流への支援や、市町村・NPO等と連携したグリーン・ツーリズムの推進、都市住民の田舎暮らし体験を通じた定住・半定住を促進

○県外の大学や高校等の県内合宿への支援や、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」の開催などによる交流の促進

◆重要業績評価指標（KPI）：

年間の農林漁業体験者数

[現状（H26）]52,000人 → [目標（H31）]67,000人

（具体的な事業）

- ・とやま帰農塾推進事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・「とやまの田舎」交流支援事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・地域連携グリーン・ツーリズム推進事業（H27当初、H28当初・農水）
- ・「富山で合宿！」誘致事業（H27当初、H28当初・観地）